

飛び出せ!! OKINAWA みんなでグッジョブ運動

ヒト・モノ・企業のグッジョブ

沖縄を飛び出し、県外や海外で認められている
ヒトやモノ・コト、企業のおふれる
パワーをお届けします。

薬草



ハーブカフェや自社農園もある
「有限会社沖縄長生薬草本社」



独自品種の大きな秋ウコン
「沖縄皇金(おきなわおうごん)」

の実験などが総合的に生かされています。また、国内大学との共同研究・開発も積極的に行っています。「薬草の宝庫である沖縄はビジネスチャンスも無限大。今後は薬草が健康増進だけでなく、副作用のない万能薬として世界を救う可能性が大いにある」と瞳を輝かせ、そ

のためには「大学院大学などの専門機関で薬草のメカニズムを徹底説明し、確かなエビデンスを集積してもらいたい」と訴えます。一企業だけでなく県全体で沖縄の薬草を守り育て、研究・開発していくことが、郷土の経済発展や未来を切り拓くカギになるといえるでしょう。



代表取締役社長 下地清吉さん

ウコンやヨモギ、グアバや長命草など沖縄でポピュラーな薬草が近年、県外や海外から注目されています。沖縄の薬草茶が全国の沖縄物産展で人気を博すほか、本土大手飲料メーカー・健康食品メーカーも沖縄の薬草を使った商品を次々に開発。

沖縄の薬草一筋に約四十年も研究や商品開発を続けてきた有限会社沖縄長生薬草本社社長の下地清吉さんは、「沖縄の薬草は、琉球王朝時代から伝わる『医食同源』の考えに基づき、食材として野菜代わりに摂られてきたものが多い。先人が生活の中で活用してきたものが、民間伝承の形で現在に伝わったんです」と語ります。下地さん自身も幼い頃、風邪やケガの時には祖母や母が薬草を煎じてくれるなど、沖縄の薬草に親しんで育ち、その効能や不思議な魅力に心ひかれてきました。

「医食同源の考えに基づく「沖縄の薬草」

宇宙を旅した「種」を 中高生の教育現場で活用

二〇〇八年からスタートした国際宇宙ステーション「きぼう」を活用した「宇宙教育プロジェクト」では、ウコンの根茎や長命草の種などの沖縄の薬草が宇宙へ。下地さんは「故郷の宮古島をはじめ、沖縄の若者たちに夢を与えたい」と、協賛企業として同プロジェクトに協力しました。宇宙から持ち帰った根茎や種は、県内の中高生によって育てられ、その変化を継続して調査・報告。生きた教育として活用されています。沖縄の薬草の新しい可能性の発見に夢がふくらみます。

沖縄の薬草の可能性、 今後の課題

安全性の高い製品を提供するため、無農薬栽培にこだわり、薬草の栽培から収穫、製造、販売までを自社で一貫して行っている下地さん。人気の薬草茶は、ウコンやグアバ、クミスクチンほか、三十八種の薬草の実・草・木・皮・根をバランス良くブレンドすることにより、味や効能、相性を考えて相乗効果をアップしたするなど、先人の知恵や研究結果、下地さんの子ども時代

活躍する社員さん

すこやかな生活をお手伝いする商品を提供したい。

有限会社沖縄長生薬草本社
販売部 専任担当 野原 祥行 さん



この仕事に誇りを持っている
野原さんをご紹介します!



カフェ併設のショップでお客様に商品の説明をする野原さん

北海道から鹿児島まで、全国の物産展で沖縄の薬草の素晴らしさをお届けするのが私の役目。商品を使ったお客様から喜びの声を聞くと、やりがいや使命感を感じます。お客様の声は必ず社に持ち帰り、商品の改善や作り手のモチベーション向上に生かしています。健康な生活は幸せのバロメーターだと思いますね。インターネットを活用し、今後は沖縄の薬草の素晴らしさを世界に発信していきたい。



自社農園の一角で青々と元気に育った長命草



ずらりと並んだ沖縄の薬草は色や香り、味や効能もさまざま



自社農園でピンク色の
可憐な花を咲かせる春ウコン

「亜熱帯気候で紫外線が強いこと、ミネラル分の多い潮風が吹きつけることが、抗酸化作用の高い沖縄の薬草をはぐくむ要素になっています」と下地さん。台風銀座の沖縄では強風も害虫除去にプラスに働いており、独特の気候が沖縄の薬草にしかない価値を高めているといいます。特に、免疫の働きを高める「免疫賦活(ふかつ)作用」が強いと言われる春ウコンには、医学界や海外メーカーから大きな期待が寄せられています。

